

上海からワールドメジャーへ

弁護士法人大江橋法律事務所
弁護士 竹田 昌史

PROFILE

先月末の4月29日に、毎年恒例の上海国際マラソン（以下「上海マラソン」といいます。）のエントリーが始まりました。エントリー期限は1か月後の5月29日までで、その後抽選を経て最終エントリー資格が決まります。今年は上海マラソンが「ワールドマラソンメジャーズ」に加盟するための重要な大会らしく、私も初めて申し込んだので少しご紹介したいと思います。

「ワールドマラソンメジャーズ」は、世界で最も有名で大規模な7つのマラソン大会（東京、ボストン、ロンドン、シドニー、ベルリン、シカゴ、ニューヨークシティマラソン）で構成されるコミュニティで、日本ではお馴染みの東京マラソンもその一つになります。全世界から選りすぐりの選手が参加し、しばしば世界記録も出る一方、市民ランナー枠もあり、私のような万年初心者ランナーも参加可能ですので、必然的に競争率も非常に高くなります。各大会共に参加人数は30000人以上の規模で、ランナーが走る環境、大会の運営など非常に厳しい基準で審査されます。

これに対し、上海マラソンは1997年から開催されており歴史は古く、ウィキペディアで見ると過去には日本人の優勝者もいたようですが、ひと昔前は、道路も十分整備されておらず、途中で食べ物を買に行くランナーもあり、競技大会というより上海市民のお祭りといった雰囲気でお世辞にも世界的なレベルの大会と言えるようなものではなかったようです。しかしながら、最近では中国人の健康ブ

ームも相まって上海市のいたるところでランニングを楽しむ人が増え、また中心部を流れる黄浦江という川沿いには片道20kmのランニング専用コースができています。更に上海マラソンも昨年の参加者は38000人と、「ワールドマラソンメジャーズ」の他の大会規模に並んできました。14億の人口を抱える中国では当然ながら想像を絶する競争率になるのですが、中国らしいのは、外国人と中国人では参加費用が雲泥の差なのですが、外国人の方は費用が高い分、ほぼ全員が抽選に当選しています。他方、最近では、私の周りの中国人の中で抽選に当選したという人は殆ど聞きません。参加人数を増やすことは中国の得意なところですが、国際的な大会とするためには少し工夫をしているように見えます。大会の走行コースは、上海随一の観光スポットである外灘をスタートして、川沿いに上海の風景に沿って進んだ後、上海市内のいくつかの観光スポットも通過するよう設定されており、ランと観光を一度に楽しめます。3月には上海市体育局から、上海マラソンが「ワールドマラソンメジャーズ」加盟のための第一評価を通過したとの報道もありました。私が抽選に当たる自信はありませんが、最近の上海マラソンの進化ぶりを見ると、来年への期待が高まるばかりです。

以上

具体的な事案に関するお問い合わせ☒メールアドレス：info_china@ohebash.com

本ニュースレターの発行元は弁護士法人大江橋法律事務所です。弁護士法人大江橋法律事務所は、1981年に設立された日本の総合法律事務所です。東京、大阪、名古屋、海外は上海にオフィスを構えており、主に企業法務を中心とした法的サービスを提供しております。本ニュースレターの内容は、一般的な情報提供に止まるものであり、個別具体的なケースに関する法的アドバイスを想定したものではありません。本ニュースレターの内容につきましては、一切の責任を負わないものとさせていただきます。法律・裁判例に関する情報及びその対応等については本ニュースレターのみには依拠されるべきでなく、必要に応じて別途弁護士のアドバイスをお受け頂ければと存じます。